

2023 春夏号

玉手山学園広報 vol. 102

夢と志を育てる学園

TAMATEYAMA

巻頭 理事長挨拶 玉手山学園にようこそ 私たちは「夢と志」を育てます We raise up dreams & wills.



Dreams & Wills

関西福祉科学大学

関西福祉科学大学高等学校

関西女子短期大学

関西女子短期大学附属幼稚園

玉手山学園にようこそ

私たち「夢と志」を育てます We raise up dreams & wills.

こんな学園をめざします こんな教育をして こんな人を育てます

玉手山学園ブランド(価値・評価)

学園ブランドは学園経営理念の主旨・発信版

ありがとうを大切にする 建学の精神「感恩」

「夢と志」(Dreams & Wills) を育てる
その豊かな心を形にし行動する

できる方法を考える やってみる チャレンジする

元気やる気で夢中になる
笑いあいさつし優しく接する



すべての学園教職員と
学生・生徒・園児が

学園ブランドのように活動し、
豊かな学園生活を送って欲しいと
願っています。

まだまだ全く十分ではない、
ずっとめざし続けます。

学園はワクワクして夢と志を育てるところ

新しい学生・生徒・園児・教職員の皆さん 玉手山学園にようこそ。

学園(仲間・教職員)を愛し、夢中になること出会い「夢と志」をこの学園で育ててください。

「夢と志」にどこで出会い どうやって育てるのか?

“どうせ自分はダメだから…”と思いつかないで、興味関心事に巡り合えば“ダメもと”ぐらいに考え、飛び込んでみることです。各々の個性・持ち味を生かして、型にはまることなく“自分流”で育てていけばいいと思います。教職員は「夢と志」に出会い育てる“仕掛け(プログラム)、キッカケ”を想像・創造し、学生・生徒・園児たちに提供してほしいと思います。

「夢と志」その大きさ 形 方向 色 はどうだつていい できる方法を考え“やってみる” 失敗も成長につながる

夢中になれそなこと“これ面白そう”に出会ったら、考え過ぎずに自分を試してください。もし上手くいかなくとも、チャレンジしての失敗は決して無駄ではなく、むしろ成長につながります。そして“格好悪くなんかありません”失敗してスランプのどん底にいるときでも、自分を嫌いにならず、忘れないでほしい…「自分も人を幸せにするお手伝いができる」ということを。若者は未来の宝 主役、世に必要とされているからです。

入学された学生・生徒・園児たちに 笑顔で卒業してもらう 我々がどう接するかで“若者は変わる” 大変だが“やりがい”あり

これが学校の教職員“教育人”的仕事です。この喜び、醍醐味があるから玉手山学園の教職員は責任・誇りとして教育情熱をもって“笑顔で卒業”に向けてエネルギーを注ぎます。
“先生に会えてよかったです…”と言われたら教育人冥利に尽きます。疲れも吹っ飛びます。

令和5年度も良質の教育サービス提供の予算を十分に用意

R5年度も良質な教育サービス提供に必要な予算が十分に編成されています。しかし全国的な少子化により玉手山学園も学生・生徒・園児数が安定せず、かつ建物設備や機械器具の“保守・更新集中”もあり、R5年度の収支は支出超過“赤字”状態となっています。学園の財政状態は無借金かつ“蓄え”が十分にあります。これからも活発に「夢と志」を育てる教育活動を継続してまいります。

この学園に来たら 夢中になることが見つかり 元気 やる気が出た!

これが玉手山学園の大学・短大・高校・幼稚園の特長になってほしいと願っています。

「夢と志 Dreams & Wills とくれば玉手山学園」…。が定着し

社会に愛され必要とされることが玉手山学園の「夢と志」です。



2023.2.5
かしわら水仙郷ウォーク 学生も生徒も

「夢と志」を大きく育てていき 学園各校園のファンを育てていく

玉手山学園(各校園)が健全に存続し続けるために、良質の教育サービス提供に徹し、募集活動にも一層の汗を流してまいります。学生・生徒・園児の皆さんも応援をお願いします。母校をいつまでも元気であり続けさせるために。

母校は永遠の“青春のふるさと”です。

オモシロイ学園づくりをめざし教職員の「夢と志」を形にし 行動する「チームDreams & Wills」を令和4年秋に結成

For the students & for ourselves の姿勢で誠実に元気に

“ワンパク”に活動していきます。

4月から開始した学園初の“キッチンカー”は「チームD & W」の“仕掛け”です。



2022.12.23
X'masコンサート 夢と志の集まり



2023.1.24
養護保健学科 異なる仕事を選んだ卒業生

短大 養護保健学科 違う仕事を選んだ卒業生

短期大学養護保健学科の卒業を控えた2人の学生と話をする機会がありました。1人は卒業後も養護教諭を目指し続ける、1人はスイミングクラブの指導者になると2人とも瞳を輝かせ笑顔で私に語ってくれました。「どちらも素晴らしいと思う、2人とも未来社会の宝であり学園の誇りです。」私は2人にそう伝え感謝の気持ちを伝えました。笑顔での卒業をありがとうございました。



2023.2.10
ある素敵な夫婦

令和5年(2023年)をどう過ごす

夢を形に行動にできる方法を考え 実践・チャレンジするかしないか

あるいは逃げる、やらない言い訳を考えるのか 誰か周りのせいにするのか…

“夢は逃げない 逃げるのはいつも自分”

迷ったらこの言葉を思い出してください。

さあ「夢と志」を育てましょう!



大田鶴雨氏 書
(日展特撰2度受賞、学園内高校書道講師)

理事長・学園長 江端 源治

大学・短大 入学式

大学事務局 学生支援センター 山本 円香

4月3日(月)、関西女子短期大学入学宣誓式を挙行し、新設された専攻科(口腔保健学専攻)を含め187名が入学しました。

続いて4月4日(火)、関西福祉科学大学入学宣誓式を午前と午後の2部制で挙行し、学部生557名、大学院修士9名、博士1名の計567名が入学しました。

座席を指定せず、マスクの着用は任意としました。晴天に恵まれ、開場前から会場出入口付近では友人同士や保護者と記念撮影するスーツ姿の新入生の姿が多く見られました。学生生活が楽しく実り多いものになるよう、教職員一同サポートしていきたいと思います。

大学



短大



高校入学式

高校 島名 きよみ

爽やかな春風がそよぐ4月8日(土)、令和5年度入学式が行われました。昨年は保護者の方々は、リモートによるLive中継での参加でした。しかし、今年は記念講堂にて多くの保護者の方々に見守っていただきました。

保育進学コースの中島倅乃さんの澁刺とした宣誓で始まり、401名の新入生が新しい学校生活をスタートさせました。新しい制服に身を包み、夢と希望を持って参列した新入生はキラキラと輝いていました。



幼稚園へようこそ

幼稚園 浅野 友希

4月7日(金)、0～5歳児合計83名の新入園児を迎えて入園式が行われました。真新しい制服に身を包み、「お部屋はどこかな?」とドキドキワクワクした様子で保護者の方と一緒に登園してきました。

式は和やかな雰囲気で執り行われ、また式終了後には幼稚園の先生と可愛い動物のお友達がたくさん来てくれて、一

緒に手遊びをしたり歌を歌ったりして楽みました。子どもたちの歌声もだんだんと聞こえてきて、ニコニコ笑っている姿が見られました。

これから始まる園生活に期待や不安もあると思いますが、子どもたちが安心して保育者や友達と遊び、楽しく過ごすことができるよう、教職員一同努めて参ります。



大学・短大 卒業式

大学事務局 学生支援センター 山本 円香

3月17日(金)、本学園の記念講堂において、第57回関西女子短期大学卒業証書学位記授与式を挙行し、203名に学位が授与されました。

続いて3月23日(木)、同じく本学園の記念講堂において、

午前と午後の2部制で、関西福祉科学大学大学院及び関西福祉科学大学学位記授与式を挙行し、学部卒業生572名、大学院修了者15名、博士1名の計588名に学位が授与されました。

大学



短大



高校卒業式

高校 島名 きよみ

2月25日(土)、多くの保護者に見守られる中、第75回卒業証書授与式が挙行されました。コロナ禍により、修学旅行が中止されるなど、マスクとともに過ごした3年間でしたが、沢山の学校生活の思い出とともに356名が笑顔で本校を卒立っていました。「夢と志」を持ち、それぞれの「道」で活躍してくれる期待しています。



だいすきだった幼稚園

幼稚園 三木 亜莉沙

3月16日(木)、114名の子どもたちが卒園式を迎えました。

担任の先生から名前を呼ばれて大きな声で返事をし、園長先生から卒園証書を受け取りました。その姿を見守っていると1人ひとりとの想い出がよみがえり、大きく成長したことを嬉しく思いました。

4月からはそれぞれに新しい場所で先生や友だちと一緒に勉強や遊び、好きなことややってみたいことをいっぱい見つけて楽しい毎日を過ごしてほしいと思います。

また会える日を楽しみにしています。



夢と志インタビュー vol.1

関西福祉科学大学
男子ハンドボール部監督
子安 貴之さん

私の志は

「ハンドボールを通して人生を豊かにする」

大学事務局 入試広報部 西村 直也

男子ハンドボール部監督をしています。人間力の向上がハンドボールの上達に直結すると考え、「人として」といった部分を大切にして、日々の指導にあたっています。学生一人ひとりが、ここでの経験を通して自ら考え方行動できる人間になってほしいと考えています。



One Teamとなりハンドボールを通じて得たものを、人生で活かし、幸せな未来を歩んでほしい。
それが私の夢です。

現在の活動内容について、教えてください

選手の適性に着目し、必要な課題を見つけ指導や練習プログラムを組み立てています。また、ヨーロッパや中東、アジアにおけるオフェンスやディフェンス、速攻戦術についても日々研究しています。

現役時代、有能なハンドボール選手だったとお聞きしましたが

いえいえ、私は大した選手ではありませんでした。何も結果を残せていませんが、人々の心に感動や熱い気持ちは残せたかな?と思っています。現役時代、湧永製薬に在籍していた時は、日中の業務後、毎日体がボロボロになるまで本気で競技に向き合っていました。チームの仲間と過ごした全ての時間が最高の思い出です。

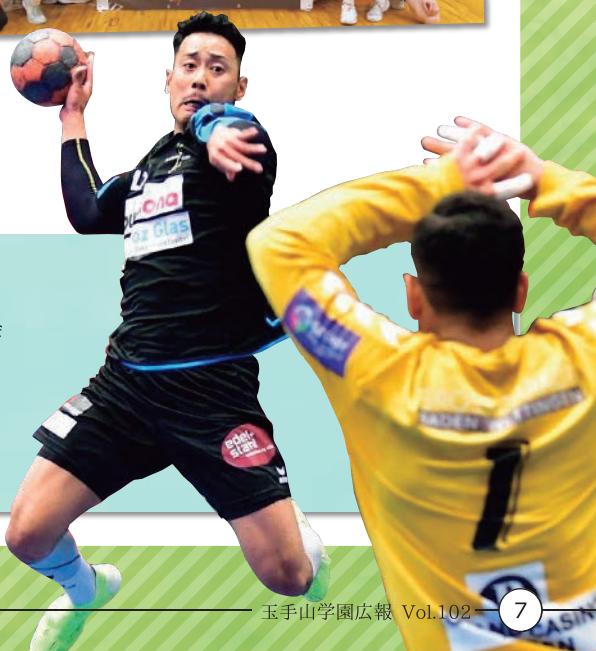
今後の目標について聞かせてください

2022年度に関西学生ハンドボールリーグ1部リーグで春季5位、秋季7位の成績を残しましたが、目標は創部以来、初のインカレ出場を果たすことと関西1部リーグで優勝することです。

学園の学生・生徒・園児に向けて何かメッセージをお願いします

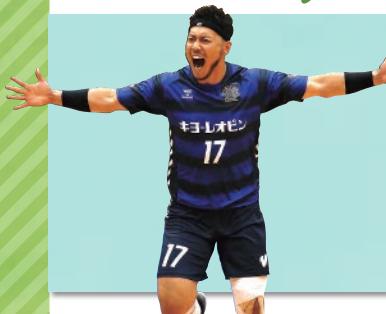
自分の成長を信じて、失敗を恐れず、恥じずにどんどんチャレンジしましょう! みなさんの可能性は無限です。頑張りすぎず、顔晴れ!

don't try too hard, do your best.



◆プロフィール◆

- | | |
|----------|-----------------------------|
| 2007年 | 日本U-16選出 第11回日・韓スポーツ交流 |
| 2009年 | 日本U-18選出 第17回日・中・韓ジュニア交流競技会 |
| 2014年 | 日本U-24選出 第22回世界学生選手権 |
| 2015年 | 日本U-24選出 第28回ユニバーシアード競技大会 |
| 2014~18年 | 湧永製薬ハンドボール部(ワクナガレオリック) |
| 2018~19年 | レイカーズ・シュテファ(スイス)に移籍 |
| 2019~21年 | 湧永製薬ハンドボール部(ワクナガレオリック) |
| 2022年 | 関西福祉科学大学 男子ハンドボール部監督に就任 |

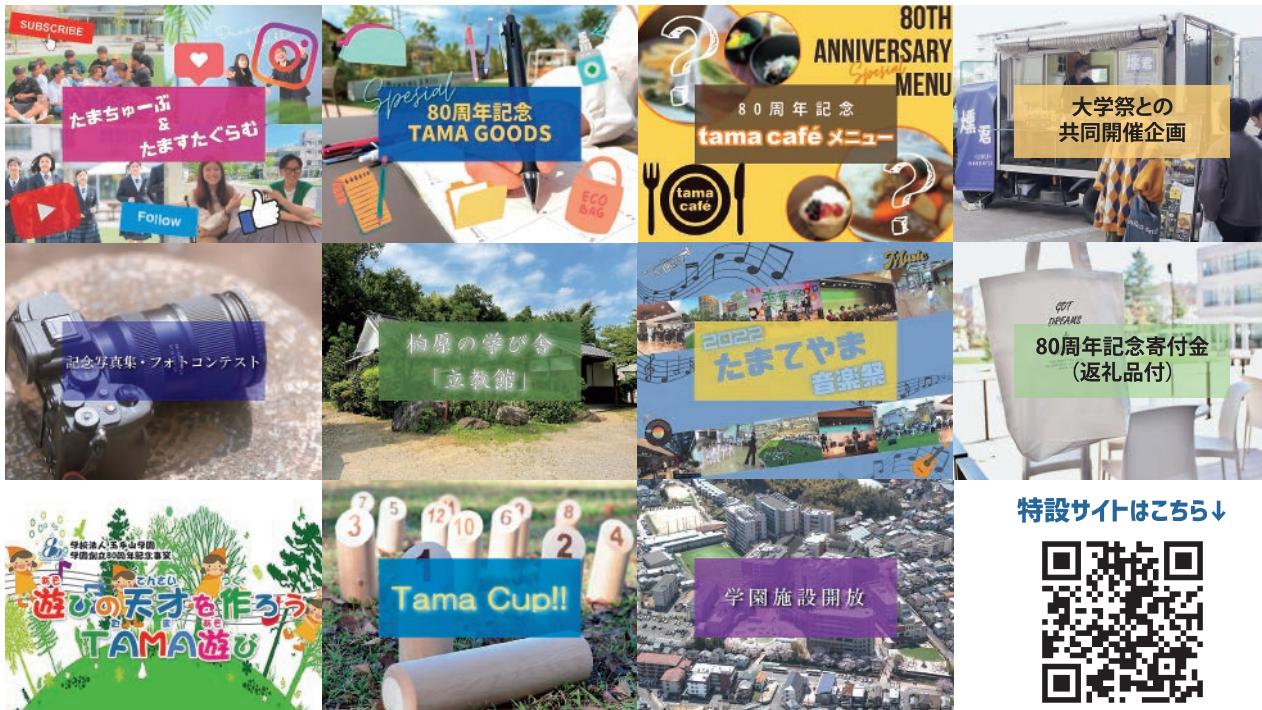




学園創立80周年 記念事業実施報告

#Tamaファン

法人本部 江端 将史



[特設サイトはこちら↓](#)



玉手山学園は2022年(令和4年)に創立80周年を迎えました。そこで、学生・生徒・園児・教職員・保護者・卒業生・地域の方々に感謝し、皆さまと一緒に80周年を大いに楽しむべく、「TAMA FAN FUN! ~みんなでたのしもう~」をテーマに、「学園創立80周年記念事業」として上記11事業を実施しました。

学生・生徒・園児、地域の方々、学園教職員が関わりなが

ら実施した本事業は本学園にとって“新しい形”的周年事業となり、学園の成長にもつながりました。

ご参加・ご協力いただきました皆さん、誠にありがとうございました。

各事業の詳細は上記特設サイトよりご確認ください。

[たまちゅーぶ](#)

[たますたぐらむ](#)



たまちゅーぶ&たますたぐらむ



YouTubeチャンネル「たまちゅーぶ」と学園公式Instagram「たますたぐらむ」では、「玉手山学園ふしぎ発見!」「教職員インタビュー」をはじめ、大学・短大・高校・幼稚園によるALL玉手山の協働企画で作成した「ありがとう」動画など、学園創立80周年を盛り上げるために、学生・生徒・園児・教職員による学園のホットな情報をSNSで発信してきました。まだ見ていない方は、この機会にぜひ「たまちゅーぶ」「たますたぐらむ」をチェックしてみてください!!



学生&生徒が発案&デザイン!

80周年記念TAMAグッズ販売開始中!!

詳しくは19ページをご覧ください





学園施設開放

この1年、様々なイベントに学園の施設を使用していただききました。中には学園OB結婚式、TVドラマ撮影、かしわらスターナイトシアターなど、これまでには無かったイベントも開催することができました。

また、学園関係者、地域の皆さんに広く施設を利用していただけけるよう、**立教館と学園総合体育館"Do夢"屋外テニスコートの一般貸出**についてもスケジュール作りが完了し、**3月から順次貸出**を行っています。

開始3ヶ月は無償での貸出としていますので、この機会に学園施設を是非ご利用ください。

ナイトシアター



学び舎「立教館」

-携帯ストラップづくり-

令和4年12月3日(土)、多くの地域の方々に**作業療法学専攻の学生によるパラコードを使用した携帯ストラップづくり**を開催いたしました。幅広い年齢層の方にご参加いただき、学生も臨機応変に考え方を工夫するなど非常に良い経験になりました。参加者からは「ありがとう。とても楽しかったです。」と笑顔で感謝の言葉やお手紙をいただき、**学生にとって建学の精神「感恩」を実現・実感**できたのではないかと思います。ありがとうございました！



フォトコンテスト

令和4年9月～11月にかけて高校文化祭・大短美葉祭・たまでやま音楽祭・幼稚園作品展において**「フォトコンテスト」**を開催しました！

展示会場には多数の方にお越しいただき、**お気に入りの一枚**に投票していただきました。作品を応募してくださった皆さま、投票してくださった皆さま、フォトコンテストを盛り上げていただきありがとうございました。

また、令和5年2月28日(火)には**最優秀賞、金賞、銀賞、銅賞、審査員特別賞**を受賞された皆さまの表彰式を開催いたしました！受賞者には理事長から賞状と副賞が手渡され、和やかな雰囲気での表彰式となり、無事にフォトコンテストを締めくくることができました。

ご参加いただいた皆さま、心より感謝いたします。



金賞 風景部門
「幸運のダブルレインボー」



80周年記念Tama Caféメニュー 第2弾

学生・生徒・教職員の「80周年記念にこんなメニューを食べたい！」の声に応えて、**学園創立80周年記念の期間限定メニュー～第2弾～**を学園食堂Tama Caféにて販売しました！

メニュー内容、盛り付けイメージ、味、ボリューム等、学生・生徒の意見・アイデアを基に、Tama Caféスタッフと80周年記念Tama Caféメニュー事業メンバー（学生・生徒・教職員）による複数回のミーティング・試作を経て完成しました！

今回は16種類のメニューを、1週間ごとに4つずつ新メニューとして、80周年の感謝の気持ちを込めて**「80周年記念スペシャルプライス」**で販売しました。

※記念メニューの販売は既に終了しています



柏原市子育て支援プログラム

大学 教育学科 香田 健治 太田 顕子

教育学科では、地域連携公認プログラムとして、令和元年度から柏原市の子育て支援施設の“ほっとステーション”でボランティア活動をしています。昨年度、学生は手遊びや読み聞かせなどの保育活動を考え、実践していました。このような体験は学生にとって理論と実践の往還や今後の施設実習、教育実習に向けての貴重な体験となりました。



また、学生は、地域の子育て支援活動に貢献することができたと感じています。このように、地域の方と学生が共同で活動することを通して、保育実践力や社会人基礎力が育つと考えています。



短大

ほいく・みゅーじっく・ふえすた

短大 保育学科 福間 久美



2月17日(金)・18日(土)、3年ぶりに日頃の学びの成果を1・2年生全員で発表することができました。2日目は「みんなで歌おう！」、附属幼稚園青組の園児たちといっしょに、笑顔いっぱいのひと時を過ごしました。



猪尾唯香さん(2年生)

2年生全員でのリレー連弾、本当にできるのか不安でしたが、

練習を重ねるうちに自信を持つことができました。本番は仲間と一緒に楽しんで演奏しました。この経験を活かし、子どもたちに友達と一緒に一つのものを創る楽しさを伝え、その喜びを感じてもらえる保育を実践したいと思います。



私が出演した和太鼓アンサンブルはほとんどの人が和太鼓初心者でしたが、舞台で心を合わせて演奏し終えた時の達成感は今までにないほど大きかったです。2日目の「みんなで歌おう！」では、ピアノの演奏に合わせて出てくる大型ペーパーサートなどの造形物を見ている子ども達の姿に、私まで楽しくなりました。

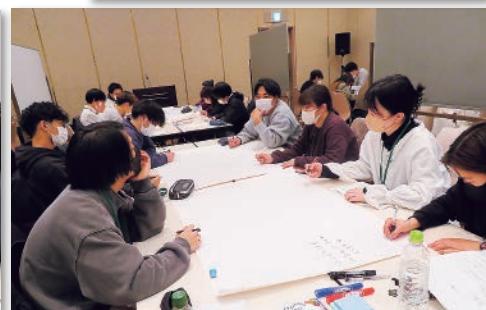
豊森虹心さん(2年生)

リーダーズキャンプ

大学事務局 学生支援センター 若本 莉奈

2月22日(水)、3年ぶりにホテルアヴィーナ大阪にてリーダーズキャンプを開催しました。この研修会の目的は、課外活動団体同士の繋がりや、課外活動団体とクラブ・サークル委員会との繋がりを明確にするためにグループワークや交流を促進し、実践の基盤を整えることです。団体の現状・課題・目標を共有し、課題解決のために討議する場として、実施しています。

今回のリーダーズキャンプでは、各課外活動団体の現代表者及び次期代表者が参加し、「団体間の繋がりの構築について」「新入生獲得について」等のテーマで討議、発表を行いました。今回の研修会での学びが各団体の活動に活かされることを期待しています。



私はクラブサークル委員として参加しましたが、リーダーズキャンプを実施するまでの企画・運営の難しさを実感しました。リーダーズキャンプ当日は、参加者の誘導の他、ディスカッション時の各グループへのサポート等を行いました。

進行について、委員の間で事前に話し合いを重ねましたが、いざ当日になると理解していなかつことも多く、困ることも多々ありました。今回の反省を活かして、今後に取り組んでいきたいと思います。

健康福祉学部
健康科学科 4年
阪口 真衣さん



初めて運営側を経験し、準備の重要性を感じました。想定外のことが多く、臨機応変な対応がその都度必要になりましたが、運営側で話し合い協力ができたと思います。

参加者の方々の討論では、新入生獲得のためにたくさんの案が出たため、それを実現できるように今後も話し合っていきたいと思います。

保健医療学部
リハビリテーション学科
言語聴覚学専攻 4年
水谷 千尋さん



保育進学コース卒業公演

高校 福原 知佳子

保育進学コース8期生の卒業公演は、令和4年12月10日(土)に記念講堂にて行われました。土曜日の開催ということもあり、たくさんの保護者が来校されました。

劇、太鼓演奏、ダンス、ピアノ演奏、合唱と盛りだくさんの演目を2時間の中に凝縮させました。リハーサルの時には、不安そうな顔をしていた生徒たちでしたが、本番になると顔

つきが変わり、自分のすべき役割を考え行動することができました。最後の合唱では、全員が感極まり泣いていました。

3年間の学びを生かして、これからも大いに活躍してくれると確信しています。



1年生の頃は

女子だけのクラス替えもない状況に不安がたくさんありました。保育の授業や行事を通してこのクラスでしか得られないものがたくさんありました。3年間同じクラスで授業を受けることは今までこれからもない経験だと思います。他のクラスとは違う絆でつながっていたように感じます。家族のように親身になってくれた先生方と3年間共にしたクラスメイトに出会えて幸せでした。

卒業公演は、劇の台本作りから音響、背景まで一から自分たちで作り上げること、ダンスを観客に見せるレベルまでもっていくことに苦労しました。でも、意見を言い合ってできた台本や、助け合いながら練習を重ね形になったダンス、一つ一つみんなで協力をして卒業公演を成功させました。準備の時から楽しくて、クラスの温かさを改めて感じられた行事で、最高の思い出です。

長谷川未来さん
(令和5年卒業)

芦田彩乃さん
(令和5年卒業)





令和4年度 クラブ活動報告

11月以降のクラブ活動のおもな結果を報告させていただきます

日本拳法部

第27回西日本高等学校日本拳法選手権大会(11月 大阪)

- 女子団体の部／準優勝

第21回大阪高等学校秋季日本拳法新人大会(11月)

- 男子団体の部／準優勝
- 女子団体の部／優勝

第27回全国高等学校日本拳法選抜大会(3月 大阪)

- 男子団体の部／優勝
- 女子団体の部／優勝
- 男子個人の部／優勝、第3位(2名)、第5位
- 女子個人の部／準優勝、第5位



なぎなた部

令和4年度近畿高等学校なぎなた選手権大会 大阪府予選会(11月)

- 団体の部／第2位
- 個人の部／第5位
- 演技の部／第5位

令和4年度新人大会兼全国選抜大阪府予選会なぎなた競技の部(1月)

- 団体の部／第2位
- 個人の部／第3位

第35回近畿高等学校なぎなた選手権大会(2月 和歌山)

- 団体の部／第3位

全国高等学校なぎなた
選抜選手権大会(3月 兵庫)

- 出場



男女テニス部

第16回第3学区テニストーナメント(1月・2月)

- 男子・女子シングルスの部 本戦出場
- 男子・女子団体の部 予選プロック／優勝



バドミントン部

第70回大阪高等学校
バドミントン選手権大会(1月)

- ダブルスの部 男子／第5位
- 女子／第9位



吹奏楽部

第27回全日本中学生・高校生管打楽器

ソロコンテスト関西大会予選(2月)

- クラリネット／銀賞
- バスクラリネット／銀賞



美術部

第43回大阪府高等学校芸術文化祭

美術工芸部門コンクール展(1月)

- 入選(4名)





わくわく!!生活発表会

幼稚園 川口 守美



1月28日(土)、たんぽぽ組・ちゅうりっぷ組・こすもす組の生活発表会を行いました。いつもと違う雰囲気に圧倒され、動けなくなったり泣いてしまう姿もありましたが、保育者や友達と一緒にいつもの保育で楽しんでいる歌やリズムで少

しづつ緊張もほぐれていきました。また、大勢の観客の前で、自信をもって楽しむ姿も見られ、それぞれの成長が感じられる発表会でした。



生活発表会 楽しかったね!

幼稚園 稲垣 晃子



2月11日(土)、12日(日)に、生活発表会を行いました。

今年度は人数制限をなくしたこと、園児の家族の方々がたくさん観に来てくださり、子どもたちはとても嬉しそうでした。舞台の上でドキドキがいっぱいの子どもたちでしたが、劇遊びでは伸び伸びと表現を楽しんだり、合唱や合奏を友達と気持ちを一つにして頑張ったりする姿に、とても成長を感じ、自分たちの出番が終わった後、「楽しかったね」と友達と話している様子に心がほっこりしました。

保護者の方々やご来賓の皆様の、たくさんの温かい拍手や応援のおかげで、子どもたちもこの経験を通して自信をつけ、次へのステップアップへと繋げていってくれると思います。ありがとうございました。



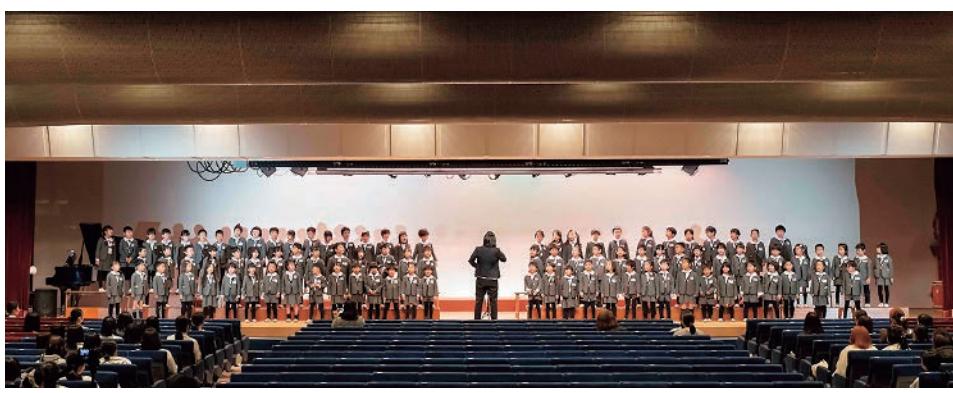
定期演奏会

歌の題名

「きみのこえ」

「どんなときも」

「あしたは はれる」





学生&生徒が発案&デザイン!

80周年記念 TAMAグッズ販売開始しました!!

法人本部 経営企画室 江端 万純



80周年記念事業の

「TAMAグッズ」(学園オリジナルグッズ)製作グループの
想いが詰まったグッズが遂に完成し、販売開始しました!

- ★学生&生徒が発案&デザインしたこだわりの限定販売TAMAグッズです!
- ★80周年記念と日頃の感謝の想いを込め、購入しやすい特別価格で販売中です!



マスクケース
発案 高校 宮田さん

おもしろそうだったので参加しましたが、高校生でも無理なく購入できる価格帯で自分の作りたいグッズを考えることが難しかったです。限られた条件の中で自分の思い描くものを作る経験はあまりない貴重なものだと思いました。



★TAMASKケース
(高校生発案&デザイン)
200円(税込)



★YUMECOCOポーチ
(高校生発案&デザイン)
200円(税込)

80周年ということで、小さい頃からお世話になっている玉手山学園に少しでも恩返しがしたくて参加させていただきました。自分が考えたデザインが商品になっていく過程を見て、とても貴重な体験をさせてもらったと思っています!



マスクケース
デザイン担当高校 中島さん

私は今まで大きな行事の裏方として関わったことがありませんでした。他の人の意見を取り入れ自分の意見を伝え、可能・不可能なことをまとめ考える難しさを知りました。また、今回のグッズ製作に参加したことにより、積極的な行動が必要であると学びました。グッズ製作を通して、自分の足りていない点に気づき、今後活かせるようにしたいです



ポーチ
発案・デザイン担当 高校 川越さん

爽やかなレモンの
柔らかい香り

FOCUS
集中力アップ
アロマ:メリッサ



新鮮で
爽やかな
ハーブの
香り

PROTECT

消臭除菌

アロマ:ユーカリ



スパイシーで
ウッディな
温かみのある香り

RELAX
リラクゼーション
アロマ:フランキンセンス



3種共思い入れのあるデザインですか、ユーカリのデザインが特にお気に入りです。
匂いも全部良いですよ!

デザイン担当 大学 奥山さん

★YUMECOCOアロマ(学生発案&デザイン)
各350円(税込)

フローラルウォーター(芳香蒸留水)とは…
精油(エッセンシャルオイル)を水蒸気蒸留で抽出することで
植物に含まれる有効成分が溶け込んでいます。
無添加で安心なので、肌・髪・体・空間などにご使用ください。

清潔でリフレッシュでき、少しでも消臭できるようなものがTAMAグッズとして学校で購入できれば良いなと思いまして。

発案者 大学 田邊さん

販売場所

①学園本館1F Tama Café売店コーナー

②大学本館1F 丸善キャンパスショップ

Learn more about

玉手山学園！(vol.1) ~創設者 山田 藤一氏~

法人本部 役員受付 江端 七海



みなさんは立教館と藤蔭庵の近くに「山田藤一之像」があることをご存知でしょうか。

一度は目にしたことがある方、もしくは見たことがない方の方が多いかもしれませんね。

私たち教職員は「学校法人」に勤務していると同時に「玉手山学園」で働いています。また学生・生徒・園児のみなさんも単に学校ではなく「玉手山学園」で学んでいます。そんな「玉手山学園」をもっと皆さんに知ってほしい! そんな想いから、数回にわたって「Learn more about 玉手山学園！」をテーマに学園についてご紹介していきます。

ではここでみなさんに質問です。玉手山学園の建学の精神「感恩」の意味をご存知ですか。「感恩」とは「人の好意や恩義に感謝すること」です。では、なぜ建学の精神が「感恩」になったのでしょうか。まずは学園の創設者である「山田藤一」氏についてご説明いたします。

山田藤一氏は明治28年兵庫県網干で生まれました。高校を卒業後、銀行、職人を経て鈴鹿商店に抜擢人事で入職しました。そこで経営危機に陥っていた同商店の復興、再建をなしとげ、総支配人となりました。以降、次々と大きな会社を興し、昭和17年、御年47歳のときに、利益を社会に還元(恩返し)する方法として、学校の設立を選択されました。当時のお金で100万円(現在の価値:数十億円)です。貧しい農家に生まれ、まさに裸一貫・丁稚奉公から始まり、血と汗が滲むような苦労と努力の末に得られた資産の浄財により、玉手山学園は誕生いたしました。また学園創設から10年ほど経ったある日、住友財閥の田中氏より当時有頂天になっていた山田藤一氏に対して「己ひとりの力でなしえたことではない、感謝の念、恩義を感じずしてどうする」と一喝されたというエピソードも創設者自ら語っておられます。そのことがきっかけで建学の精神が「感恩」になったのかもしれませんね。みなさまの日々に「感恩」がありますように。

今回は創設者 山田藤一氏と学園の誕生についてでした。



学園広報編集委員会

委員長 湯川 雅紀 (大学教育学部) 古橋 正則 (高等学校) 江端 万純 (法人本部)
委 員 西村 直也 (大学事務局) 稲垣 晃子 (幼稚園) 松井 愛 (大学事務局)
横山 学 (大学事務局) 與原 真弓 (法人本部)